



# NEWS RELEASE

2023年5月12日

お客様各位

株式会社 栃木銀行  
取締役頭取 黒本 淳之介

株式会社 ワカヤマファーム様の「SDGs宣言」のご支援について

栃木銀行（頭取 黒本 淳之介）は、お客さまのSDGs経営への取組みをご支援するため「とちぎんSDGs宣言支援サービス」をご提供しています。

今般、株式会社 ワカヤマファーム様が、本サービスをご利用いただき「SDGs宣言」を策定されましたのでお知らせいたします。

地域経済の担い手である事業者の皆さまにとってSDGs経営に取り組むことは、将来の「ビジネスチャンス」と「ビジネスリスク」を認識し、事業継続性を高める有用な機会となります。

栃木銀行は、今後もお客さまと共に、地域経済の持続性向上に取り組んでまいります。

記

## 1. 企業概要

企業名	株式会社 ワカヤマファーム
所在	栃木県宇都宮市宝木本町 2018
代表者名	代表取締役 若山 太郎
事業内容	農業

以上

# 株式会社ワカヤマファーム

## SDGs宣言

当社は、「持続可能な緑地の形成と竹材の有効活用によるカーボンニュートラルの徹底を目指す」をモットーに、竹の魅力を感じてもらい竹林を余すことなく活用するビジネスモデルの形成し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年1月13日

株式会社ワカヤマファーム  
代表取締役 若山 太郎

### ■ SDGsの達成に向けた取組 ■



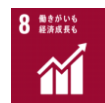
#### 働きがい



社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

##### 【具体的な取組】

- 労働集約型産業である農業において、積極的な機械化・IT化を目指す
- 社員一人ひとりが働きやすく、自己実現を図れる環境を作る
- 社員のキャリア面談の実施



#### 環境配慮型サービス・製品の提供



持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。

##### 【具体的な取組】

- 筍・竹の間伐材など未利用有機物の有効活用によりカーボンニュートラルを目指す
- 農業や化学肥料の使用を避け、自然循環型栽培による環境負荷の少ない生産を目指す
- 農産物等での生産過程における方法や資材の見直しを図り、CO2排出量を下げ、環境への負荷を下げる



#### 地産地消の推進



地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。

##### 【具体的な取組】

- 地産地消の促進によりマイレージコストの削減を図る
- 竹苗の生産・販売による都市への緑地提供及び竹林の管理・運営による緑地面積の確保
- 地域の特産品・自然等の特色を生かしたイベント企画



#### 持続可能なまちづくりへの取り組み



自然循環型栽培の促進により環境への影響を和らげます。

##### 【具体的な取組】

- 竹林の運営管理により緑地の提供と植物多様性の増進
- 農業や化学肥料の使用を避ける自然循環型栽培により、環境への影響を和らげる
- 竹の植栽による都市部のヒートアイランド現象の改善



#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。